



新しい年が明けました。良い年にしましょう。新年早々、五日市剛さんの講演を聞きました。

五日市さんはエンジニアでサラリーマンから今は独立されて会社を経営されています。

大学生時代にイスラエルを旅した時に現地のおばあさんから聞いた幸せになるお話を各地ですべて本も出しています。

講演テーマは「ツキを呼ぶ魔法の言葉」、嫌なことがあった時には「ありがとう」と、そしていいことがあったときには「感謝します」と、自分に向かってすぐに言う。願い事は口に出して言う。鏡に向かって言う。また、祈りは請求書ではなく領収書にきなさい、つまり「〇〇したい」ではなく「〇〇できました。良かった感謝します」と、出来ていない時からそう祈りなさい。そうすれば不思議と実現をする。人生ががらりと変わるという内容でした。

お金がかかることでも、人に迷惑をかけることでもないのを試してもいいかもしれません。

「2009年はとっても良い年でした。感謝します」と。

<第162回 ほほえみの会>

2人の参加でした。

<第163回 ほほえみの会>

5人の参加でした。

▽ 3歳8ヶ月幼稚園年少、男の子、急性リンパ性白血病。風邪も引かない丈夫な子だったが咳が出たので風邪かと思い総合病院の小児科へ行ったところそのまま救急車でこども病院へ。軽く考えていたのでビックリ、意味がわからなかった。父親は驚いて腰が抜けてしまった。

薬の反応もいいようなので、5月頃には幼稚園への復帰を目指したい。病棟では看護師さんがよく相手をして遊んでくれるのでありがたい。幼稚園には病気のことを伝えたが、親戚には言えない。

▽ 6ヶ月女の子、肝芽腫。せきが出たので風邪かと思い市立病院へ行ってレントゲンを撮り、影があったのでエコーをしたところ、すぐにドクターヘリでこども病院へ運ばれた。腫瘍が破裂して出血しており危険な状態だった。抗がん剤の投与を始め、腫瘍が小さくなったら手術をする予定。

ドクターヘリやこども病院はテレビの世界で、まさか自分が関わるとは思ってもいなかった。ヘリで運ばれた日は天気が悪く、こども病院へ着いたときには雨が降っていた。もう少し遅かったら飛べなかったというのでラッキーだった。

3歳の兄がいて、保育園に入れることにしたが、寂しい思いもするだろうから土日は父親か母親か、どちらかが一緒に遊んでやりたい。また、母親が倒れたら大変なので気をつけたい。

▽ 3歳11ヶ月男の子、神経芽細胞腫。12月はじめにおなかと足が痛いと言ったので近くの小児科へ行った。子供にはよくあるということで様子を見ることにしたが、変わらないので別の小児科医院へ行った。そこでは漢方薬をくれて様子を見ることにしたが、具合が悪い様子が続くので市立病院へ行った。そこで血液検査をしたところ、異常がわかりこども病院へ入院することになった。

骨への転移もあるようで、年末から抗がん剤治療を始めた。今後、放射線治療や手術もする。

年末年始の抗がん剤治療で体へのダメージが強く、白血球が0になり無菌テントに入っている。今後治療に耐えられるのか心配。小学2年と年長の姉がおり2人のことも心配。仕事と面会、姉妹の世話とどうしていったらいいのか、心のバランスをどうとっていったらいいのか悩む。家族が面会に来るのにバスが1時間に1本しかないのが不便。

次回は 2月 8日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス k\_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>